

報告第2号 市の要望回答

白河市内商工会議所・商工会連絡協議会 要望書

要望回答一覧

NO	区分	要望内容	担当課
I. ポストコロナへの需要・消費喚起のための経済対策、中小企業・小規模事業者のビジネス変革などの後押し推進、地元飲食店利用促進について			
1		<p>1. ポストコロナへの需要・消費喚起のための経済対策と中小企業・小規模事業者のビジネス変革などの後押し推進について 新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、市内事業者は業種を問わず感染拡大の防止と事業活動の維持との両立した取り組みを進めております。 しかし現在、ワクチン接種が進む中、ポストコロナを見据えた消費喚起対策とそれに対応するためのビジネス変革が求められています。 つきましては、落ち込んだ需要の回復とビジネス変革などを志す事業者への後押し推進が図れるよう次の事項について要望します。</p>	—
	要望	<p>(1) 域内需要・消費喚起のための経済対策の継続について 令和2年度から2ヶ年にわたり、緊急経済対策として「クーポン券発行事業」を実施していただき、参加店からは大変効果的であり売上確保に資するものであったと高い評価をいただいております。 つきましては、<u>新年度においてもポストコロナの需要・消費喚起のための「クーポン券発行事業」を継続していただきますようお願いいたします。</u> なお、クーポン券の支給方法については、現行の世帯単位から市民1人単位へと変更していただき、経済効果の高さからも予算規模の拡充を講じていただきますようお願いいたします。</p>	商工課
	回答	<p>令和2年度の第1弾テイクアウトクーポン事業から現在実施中の第4弾しらかわ応援クーポン事業については、新型コロナの感染拡大の影響により厳しい経営状況が続く飲食店や小売店、サービス業等の支援のため、国の新型コロナ対策臨時交付金を活用して実施しております。新年度においては、県内及び市内の新型コロナの感染状況や経済状況に注視するとともに、国の交付金など新たな財源の確保に努めながら、支給方法を含め検討して参ります。</p>	
	要望	<p>(2) コロナを契機としたデジタル化による生産性向上やビジネス変革（事業再構築、承継・再生、IT化・DX推進等）等への挑戦に対する後押し支援について コロナ収束の先行きが見通せない中、経済社会活動は直ちに流行前に戻ることはなく、感染拡大の防止と経済社会活動の維持との両立に配慮した取り組みへ段階的に移行していくこととなるでしょう。 このような中、テレワークやオンライン会議などデジタル技術の活用や新商品・新サービスの開発、Eコマースの活用など、事業者は創意工夫を凝らし「新しい生活様式」に対応した事業活動に取り組み始めてなくてはなりません。 そのため、このコロナ禍を構造的な課題である人手不足の克服や生産性向上、働き方の変革を喚起する好機と捉え、多くの事業者が新たな消費ニーズの発掘に対しSNS等のITを活用したり、新分野への進出を計画したり、農業分野ではやはりITの活用によるスマート農業等が試みられています。 <u>これらの新しい変革に対し、販路開拓等に取り組む費用を補助する補助金制度を創設していただき、頑張る域内中小企業・小規模事業者の後押し支援をお願いいたします。</u></p>	商工課
回答	<p>中小企業・小規模事業者における慢性的な人材不足の解決には、IT化、DX推進による業務の効率化、生産性向上が必須であることから、ご要望の内容と具体的な事業者のニーズを調査し、支援内容を検討してまいります。</p>		

白河市内商工会議所・商工会連絡協議会 要望書

要望回答一覧

NO	区分	要望内容	担当課
2	要望	<p>2. 飲酒を伴う会食・会合への段階的緩和による地元飲食店等への利用促進について 新型コロナウイルスの新規感染者数は、全国的に減少傾向にあり、福島県内も新規感染者が確認されない日もあるなど感染状況が落ち着きをみせております。 さらには、市当局のご努力により市民のワクチン接種も87.5%超が見込まれるなど接種が進み、3回目接種の方針も示されております。 現在、福島県では、感染防止対策が徹底されている「感染防止対策認定店」で利用できるプレミアム付食事券を発行し、コロナ禍で影響を受ける飲食店の支援と経済の活性化に向けた取り組みが進められております。 つきましては、今後の感染動向にもよりますが、<u>市職員の飲酒を伴う会食・会合について段階的緩和により、感染防止対策を講じる地元飲食店を積極的に利用していただき、コロナ禍で冷え込んでいる飲食業界の消費喚起を図っていただきますようお願いいたします。</u></p>	総務課
	回答	<p>オミクロン株の感染拡大、第6波への懸念が日々強まる中、その必要性から全国的にも感染防止対策と経済の両立が推し進められています。市役所といたしましても地域経済活動活性化の一助となるため、全国の対策事例や福島県感染拡大防止対策など適切に感染防止対策を執りながら、市民の誤解を招かないよう注意しながら、市職員への市内飲食業での消費喚起を図ってまいります。</p>	
II. 中小企業・小規模事業者支援対策の拡充・強化について			
1	要望	<p>1. 「敬老祝い商品券」事業の加盟店手数料廃止による財政支援について 白河市内商工会議所・商工会連絡協議会（以下、「商商連」という。）では、合併後の平成18年度から16年間に亘り、「敬老祝い商品券」事業を実施しております。敬老会対象者1人あたり2,000円分の商品券を支給するために、毎年対象人数分の金額を白河市よりご負担いただいておりますが、運営の実態としては、商品券・ポスター・加盟店一覧表などの印刷費及び事務費である「諸経費」が発生し、その財源として加盟店より「換金手数料2%」を徴収して運営をしているところです。 一方で、加盟店である事業者はコロナ禍の影響で大変厳しい事業環境下であり、加盟店へのアンケート調査を実施したところ「換金手数料を廃止して欲しい」、「換金手数料を減らす対策をして欲しい」との声が圧倒的に多く寄せられています。 また、商商連として請け負っている内容としては、商品券の発券のみならず、加盟店の換金業務も同時に実施していることから、一括して請け負う「受託事業」の形態であり、商商連の各構成団体事務局では相当程度の労力負担が発生していることも事実であります。 つきましては、新年度より「敬老祝い商品券」事業を実施する上では、白河市の委託事業である緊急経済対策の「クーポン事業」は、<u>加盟店からの手数料負担が不要となっていることから、加盟店からの手数料を廃止した運営ができるよう、財政支援を講じていただきますようお願いします。</u> <u>加えて、現在も長期化するコロナ禍で困窮している事業者（加盟店）も多いことから、可能な限り、今年度から「諸経費」分について市が負担するご支援を賜りたく併せて要望します。</u></p>	高齢福祉課
	回答	<p>令和4年度の予算については、手数料負担が不要となるよう配慮し「敬老祝い商品券」発行換金業務委託料として要求しています。また、諸経費分も含めて予算要求しております。</p>	
2	要望	<p>現在、国の予算措置による「小規模事業者持続化補助金」、「ものづくり補助金」、「事業再構築補助金」等が毎年公募されており、市内事業者の中には各種補助金を申請、そして採択を受け、新たな取り組みに着手している事業者も多く存在しております。 一方で、採択後の補助金の入金タイミングは、補助事業終了後に提出する実績報告が認められた後の「精算払い」となっていることから、入金時期も長期化し「資金確保」に大変苦慮しております。 つきましては、<u>市の融資制度を拡充し、短期のつなぎ資金として融資実行された際の利子補給及び信用保証料補助など事業者の資金繰りに対する支援を講じていただきますようお願いします。</u></p>	商工課
	回答	<p>市では、設備投資の資金や運転資金を融資する「白河市内中小企業経営合理化資金融資制度」を実施しております。この制度を活用した場合、信用保証料が最大3年間実質無料となります。また、日本政策金融公庫が実施している「小規模事業者経営改善資金（マル経融資）」も設備資金、運転資金として活用でき、低金利、無担保、保証料なしでご利用が可能となっております。 上記制度の活用により、補助金の支給までの資金確保が可能となることから、現状では新たな支援策については考えておりません。</p>	

白河市内商工会議所・商工会連絡協議会 要望書

要望回答一覧

NO	区分	要望内容	担当課
Ⅲ. まちづくり・地域振興の推進について			
1	要望	<p>1. 新武道館建設について 白河市武道館は、供用開始から約半世紀が経過し、建物の老朽化が進んでおります。また、高台に所在しており、共用道路も狭く、各種大会が開催できないなど大変不便を来している状況にあります。 一方、当市では、松平定信公が設立した立教館の教えである「文武兼備」のもと、現在まで様々な武道が競技レベルから自己実現を目指す生涯学習まで幅広く親しまれております。つきましては、松平定信公が設立した「立教館」を基本理念とし、「新武道館」の建設について強く要望します。</p>	生涯学習スポーツ課
	回答	<p>武道館の柔剣道場は、令和3年2月の地震で被害を受け利用できないことから、武道館連絡協議会より早期利用のご意見をいただき、現在、安全に利用するための耐震補強工事を進めております。武道館は、昨年3月に策定した公共施設個別施設計画において、改築又は大規模改修の検討を行う施設と位置付けており、武道館連絡協議会や市民の皆様の意見を聞きながら、令和8年度までに総合的に判断してまいります。</p>	
■白河商工会議所			
1	要望	<p>1. 道の駅の整備について 道の駅は、安全で快適に道路を利用するための道路交通環境の提供、地域の賑わい創出や防災機能を備えた安全の確保などを目的とした施設であり、「地域とともに作る個性豊かな賑わいの場」として地域経済の活性化や観光面において大いに期待されるものであります。 人々の価値観の多様化により、個性的で面白い空間が望まれており、休憩施設では地域の文化、歴史、名所、特産物などの情報を活用し多様で個性豊かなサービスの提供や農商工連携を促進させることが可能となります。 つきましては、多くの市民や来訪者が集い、情報発信機能を備えた道の駅は、地域産業・地域社会の発展には欠かせない重要な施設であると考えておりますので、<u>白河市における道の駅の整備に向けた検討委員会の設置や基本構想の策定などの準備を進めていただきますよう切に要望します。</u></p>	道路河川課
	回答	<p>道の駅は道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方のための「情報発信機能」、そして活力ある地域づくりを行うための「地域連携機能」を併せ持つ複合施設となっていることから、道の駅のあり方や関連機関との連携・調整方法等について、調査研究を進めて参ります。</p>	
2	要望	<p>2. 白河駅前駐車場の整備について JR白河駅の駅舎隣に新たな観光交流拠点「(仮称)白河市物産交流センター」が令和5年度オープンを目指して整備されると聞き及んでおります。 当施設は、まちの顔である白河駅前空間を本市の魅力ある観光施設や名所などを案内・PRする情報発信基地、そして地場製品のアンテナショップなどの機能も想定されており、まちなかの賑わい創出が期待されるところであります。 一方、施設利便性の向上や賑わいを醸成するためには、利用者向けの「駐車場」が必要であると考えます。 そのため、<u>施設機能や施設利活用の検討と並行して施設周辺の「駐車場」についても検討・整備していただきますよう要望します。</u></p>	まちづくり推進課
	回答	<p>当施設の駐車場につきましては、まずは施設周辺の駅前イベント広場や城山公園など既存の公共駐車場の効率的かつ効果的な活用が必要であると考えており、利用者の利便性の向上を図るため、現在、駐車場の空き情報を伝える仕組みを検討しております。</p>	

白河市内商工会議所・商工会連絡協議会 要望書

要望回答一覧

NO	区分	要望内容	担当課
■表郷商工会			
1	要望	<p>1. 国道289号線沿い設置の看板改修について 表郷小松に設置されている「美愛恋(ビヤッコイの里) 表郷」の看板は、26年以上国道289号線沿い通行者へ白河市表郷地区の宣伝広告の役割を担ってきました。しかし、長年にわたる風雨などの影響で、近年看板柱の腐食が目立ち老朽化の進行により看板倒壊の恐れも懸念される状態です。国道289号線は県内で有数の通行量を誇り、設置場所は視認性が高く宣伝効果も引き続き期待できます。 そこで看板の安全性を高め倒壊を防ぎ、掲載情報を充実させて白河市表郷の魅力を情報発信することで、同看板を見た方々の興味を引き、<u>表郷地区や白河市全体の交流人口・関連人口の拡大、地域振興のために看板改修費用への補助についてご協力いただきますよう</u> 要望します。</p>	表郷庁舎 事業課
	回答	<p>当該看板の改修費用につきましては、白河市商工会企画事業補助金の活用が可能となります。なお、改修の時期など詳細については、商工課にご相談下さい。</p>	
■大信商工会			
1	要望	<p>1. 商工会館の老朽化に伴う移設について 当会の商工会館は、昭和55年2月に完工してから40年以上が経過しており、老朽化が著しい状況です。トイレが和式のみで男女別に分かれていない等、不便なことが多く、沿道の大型車両が通過するたびに大きな振動に見舞われる等、耐震構造ではないため安全性を担保できず、長期的な使用が困難であることが想定されます。 また、個別相談できる部屋が無く、資金繰りや事業承継等の機微情報を伴う相談をしづらい環境で、業務に支障をきたしています。 <u>白河市大信地域市民交流センター「ひじりん館」の一部を借用する等、大信商工会館の移設について</u> 要望します。</p>	大信庁舎 事業課
	回答	<p>ひじりん館は、利用者に対し、地元特産品等の販売や飲食物の提供、集会室・和室の貸出を行う施設であり、貴会から要望ありました事務所としての利用は目的が異なるため、お応えすることは困難であると考えます。 商工会館の老朽化につきましては、貴会の施設計画の中でご対応いただきますようお願いいたします。</p>	
2	要望	<p>2. 白河市大信地域の魅力を発信するパンフレット制作について 白河市大信地域には、権太倉山の聖ヶ岩ふるさとの森や白河ゴルフ倶楽部等、豊かな自然とレジャー関連施設があります。農畜産物においては、ブロッコリーやトウモロコシ、大信みそ、白河高原清流豚、地酒「初舞台」等の美味しく特色のある素材が数多くあります。 しかしながら、生産者の自助努力による既存の情報発信方法では認知度を高めることは困難な状況です。<u>白河市大信地域の魅力を紹介して認知度を向上させるためのパンフレット制作に係る費用への補助について</u> ご協力いただきますよう 要望します。</p>	商工課
	回答	<p>パンフレット制作に係る費用につきましては、白河市商工会企画事業補助金の活用が可能となります。なお、制作の時期など詳細については、商工課にご相談下さい。</p>	
3	要望	<p>3. ひじりん館案内看板の設置について 白河市大信地域市民交流センター「ひじりん館」は、国道294号線沿いの好立地ではあるものの、案内看板は大信地域内の道路沿いに設置されているのみで、地域外の運転者を誘導する案内が不足しています。<u>白河中央スマートICや国道4号線の白河市入口付近にひじりん館の案内看板を設置</u>することで、仕事や観光で白河市に来た方々に立ち寄ってもらうことが期待できます。 ひじりん館の来客が増えることは、大信地域、ひいては白河市全体の交流人口・関連人口の拡大につながるため、案内看板設置にあたり東日本高速道路株式会社や福島河川国道事務所への折衝を行う際のご協力を要望します。</p>	大信庁舎 事業課
	回答	<p>ひじりん館は大信地域における中心的な公共施設であり、市外からの来訪者も含めより一層利用者の増加を図っていく必要があります。そのためには、案内看板の設置やSNS等を活用した情報発信など様々な方策を講じていかなければなりません。 市としましては、様々な方策の中からより効果的・効率的な方法でひじりん館の誘客に取り組んでまいります。</p>	

白河市内商工会議所・商工会連絡協議会 要望書

要望回答一覧

NO	区分	要望内容	担当課
■ひがし商工会			
1	要望	<p>1. ひがし街路灯維持会への補助金の継続交付について</p> <p>ひがし街路灯維持会は、約20年前に商工会が主体となり設立し、会員の会費収入と市の補助金収入を電気代及び修繕費、管理費に充てておりました。また、平成25年にLED化工事を進める際に白河信用金庫より借入をし、その返済期間分の補助金については市より上乗せしていただいて運営を継続していたという経緯があります。</p> <p>しかし、返済が終了する今年度については上乗せ分の補助の終了だけでなく全額が交付とならなかったため、今年度の運営は厳しいものとなっており、来年度については街路灯が点灯できない恐れがあります。</p> <p><u>街路灯は防犯効果も高く、地域住民にとっても無くてはならないものであるため、今後の運営維持のために補助金の継続交付を要望します。</u></p>	東庁舎 事業課
回答	<p>各地域の商工会街路灯の電気料や維持管理修繕については、町内会や設置者が管理している状況であり、市からの補助金は交付していない状況であります。</p> <p>補助金や交付金等については、市全体の均衡を保つこととなっていることから、ひがし商工会のみに補助金を交付することは難しいところでございます。</p>		